正誤

一第三條文中（ルニ足ルヘキ準備ヲナス）ノ十一字ハ衍

一第九條但書文中若クハノ下ニ（一部ニ限リ）ノ五字ヲ脱ス

明治十六年七月九日　　文部書記官

叙任賞勲

○六月廿八日

叙從五位　正六位勳五等　石井忠亮

叙從五位　正六位　國重正文

叙從六位　正七位　尾越蕃輔

叙正七位　横川源藏

叙正七位　村橋次郎

時事新報

清佛ノ和戰如何

安南事件ニ關スル清佛両國ノ葛藤ハ實ニ容易ナラザル觀相ヲ呈シ清國大臣李鴻章佛國使臣トリクウ先月初旬以來上海ニ相會シテ談判スル所アレハ其議容易ニ決定ニ至ラズ然ルニ此際安南東京地方ニ於テハ屯駐ノ佛軍安南兵ト攻戰シテ互ニ殺傷アリ佛軍ノ如キハ一旦大ニ其利ヲ失ヒ首將以下コレニ死スルノ後ハ孤城ニ籠守シテ援軍ヲ喚ビ今ハ又大ニ其軍聲ヲ回復シタルガ如シ而シテ當時清ノ佛ニ對シ佛ノ清ニ對スル軍備ノ如キハ決シテ又尋常ナラズ一旦談判不調ノ上ハ瞬間ニシテ硝煙彈雨亞細亞東部ノ全面ニ張ラントスルノ勢アリテ人心洶々和戰孰レニ決スルヤヲ知ラント欲シテ知ルベカラズ荏苒遂ニ今日ニ至リタリ然ルニ本日ノ雜報欄内ニ記ス如ク上海ヨリノ電報ニ據レハ李鴻章ハ本月五日上海ヲ發シ天津ニ歸リタリト云ヘリ我輩此報知ヲ得テ第一ニ知ラント欲スル所ハ李氏ガ北歸シタルハトリクウ氏トノ談判ヲ平和ニ結了シタルガ故カ將タ其談判遂ニ結局ニ至ラズ一應北京政府ニ具狀シテ伺ヲ議スル所アラントスルガ故カ或ハ又他ニ事情アリテ然リシカト云フノ一事ナリ又讀者ガ昨日ノ海外電報欄内ニ載テ一讀セラレタル如ク六月廿八日倫敦發ノ電報ニ清國公使曾紀澤ハ清國政府ガ安南ヲ統治スルノ權ヲ抛棄シタルヲ以テ清佛両國ノ間ニ起リタル東京事件ハ既ニ平結シタリトノ報道ヲ事實相違ナリトシタリトアリ而シテ此電報ノ文意聊カ明瞭ナラザル所アリト申スハ曾紀澤ノ事實相違ト云ヒシハ該報道中何レノ点ニ相違アルニヤ甚タ疑ハシ清佛両國ノ間ニ起リタル東京事件ハ既ニ平結シタリトノ事ハ事實ナリ然レ𪜈此平結ハ清國政府ガ安南ヲ統治スルノ權ヲ抛棄シタルガタメニ得タル結果ナリト云フハ事實相違ナリト云フノ意カ將タ清國政府ハ安南ヲ統治スルノ權ヲ抛棄シタルガタメニ得タル結果ナリト云フノ意カ我輩ハ其意ノ何レニ在ルヲ斷ズルニ躊躇セザルヲ得ズ或ハ準備整ヒ上海ヲ發シテ北歸シタルハ清佛ノ談判平和ニ落着シタルガ故ナリトセンカ歐洲ニテ曾紀澤ノ正誤シタル意味ハ清佛ノ葛藤ハ解ケタリ但シ清國ガ安南ヲ抛棄シタルガ故ニアラズト云フニ在ルナルベシ若シ斯ノ如クシテ推測スルキハ我輩ノ意中ニ今回ノ清佛談判ハ平和ニ終結セリトノ信用ヲ起サシムルニ足ルモノヽ如シト雖𪜈又本日ノ海外電報欄内七月一日倫敦發ノ電報ニ清國公使曾紀澤ガ本國ヨリ受取リタル電報ニ據レハトリクウ氏ガ李鴻章ニ對シ無禮ノ振舞アルヨリ李氏ハコレヲ憤リ目下一切ノ談判中止シテ拂取ラズトアルヲ見レハ李氏ノ北歸ハトリクウ氏ノ無禮ヲ憤リ決然袂ヲ振ヒテ相別レタルモノナランカトノ疑ナキ能ハズ若シ然ランニハ李氏ガ上海ヲ去リシハ談判落着ノ成果ニアラズシテ和議破裂ノ徴ナリト云ハンモ不可ナカルベシ兎角未ダ李氏ガ北歸ノ事情ヲ詳知セザル間ハ清佛両國ノ和否ヲ知ルベカラズ我輩ハ只管幾報ノ速カニ到達センヿヲ希望スルナリ

或ハ又今回ノ清佛葛藤ハ果シテ既ニ平和ニ落着シタルモノト仮定センカ未タ両國ノ結約如何ヲ知ラザルノ前ニ於テ遽カニ其成跡如何ヲ判知スベカラズト雖𪜈若シ清國政府ガ安南爲中國所屬之邦ト云フノ口實ヲ取消シ全國ヲ放棄シテ一ニ佛國ノ爲スヿ所ニ任シタルガ故ナリトセンカ是即チ清國ニ取リテハ由々シキ大事ニシテ其關係決シテ愛南一ケ國ノ屬邦論ニ止マルベカラズ清國ガ從來屢々他ノ諸國ト難ヲ攜ル屈竟ノ口實タリシ琉球爲中國所屬之邦ナリト云フヿニ付テハ以來全ク其口ハ朝鮮爲中國所屬之邦ナリト云フヿニ付テハ以來全ク其口ヲ緘セザルベカラズ琉球ハ日本國内ノ一縣タルヲ以テ妄リニコレニ指サシテ是我屬邦ナリ是我附庸ナリト云フモ固ヨリ其詮ナキヿニシテコレヲ云フト云ハザルト毫モ輕重關係スルヿナシト雖𪜈朝鮮亦中國ノ屬邦ニアラズト自カラ證明スルヿアランニハ彼ノ大院君ヲ保定府ニ拘留シ三千ノ兵士ヲ朝鮮ノ城下ニ屯駐セシムルガ如キ類ノ所業ハ即日ニコレヲ停止シ朝鮮政府ニ向テ大ニ其罪ヲ謝セザルベカラザルベシ若シ又清國政府ガ巨万ノ償金ヲ佛國ニ拂ヒ因テ以テ僅カニ佛國ガ安南ヲ侵奪セザルノ承諾ヲ得今回ノ葛藤ヲ解キタリトセシカ四十年以來清國政府ガ西洋各國ノタメニ輕侮セラレ其土地ヲ失ヒ其財寶ヲ奪ハレタルヤ枚擧ニ遑アラズ時ニ或ハコレニ抵抗スルノ狀ヲ装フヿナキニアラズト雖𪜈全ク監暗ニ屬シテ實ノ決心ナキガタメニ毎時他人ニ其腹中ヲ洞見セラレ結局土地財寶ヲ以テ平和ヲ買ハシメタル、ニ過ギズ然ルニ近年ハ清國ノ兵備モ漸ク整頓シタリトノ噂アリテ大ニ世人ノ注意ヲ惹キ今日ノ清國ハ決シテ前年ノ清國ニアラズナド、言ヒ合ヘル折柄又モヤ佛國ニ償金ヲ拂ヒタリト聞エテハ餘リノ事ニ世人モ呆レ果テ最早清國ヲ東洋ノ一獨立國中ニ算入スルヿヲ厭フナルベシ李鴻章ノ如キハ既ニ耳順ノ老人ナルガ故ニ或ハ此成果ノ結局ヲ見ルニ及ハズシテ世ヲ去ルヿアルヤモ知ルベカラズト雖𪜈李氏ノ子孫ハコレヲ目擊スルノ不幸ニ遇フヿアルベシ豈ニ慮ル所ナカルベケンヤ必竟スルニ今回ノ清佛葛藤ハ大ニ清國ニ損スル所ナクシテ平和ノ落着ヲ得ベキ見込ナシ然ラバ清國ハ其損ヲ厭ハズシテ和ヲ講ジ其大臣李鴻章ヲ北歸セシメタルカ抑モ亦尚ホ爲ス所アラント欲シテ李鴻章ノ北上ヲ要スルカ我々ハ後報ヲ俟テ詳カニ聞クヲ得ベシ

雜報

○參内拜謁　正五位嵯峨公勝、從五位高千穗宣麿從五位五島盛主の三君は今般元服せしゝ付本月七日午前十時參内拜謁仰付けらる　天盃を賜はりたり

○巡察使　元老院議官渡邊清君は本月六日埼玉縣下へ着したる旨其筋へ電報ありたり

○日耳曼皇后漫遊　同皇后ゝは去る五月廿四日佛國巴利府ゝ到着せられ英國公使館に於て朝餐を喫し夫れよりセント、セルメインゝ赴き中食を終りブリストル旅館ゝ滯在せられ廿六日ゝハベルリンを向け出發あらせられたり尤も旅行中ハリンゼン侯女と髮名し皇女ビクトリア、セルストッフ貴女及ひセケンドルフ侯も隨行せりと

○贈與　目下滯在中あるジヨホア侯の許へ宮内省より本邦の織物其他花瓶等を贈與されゝる由

○ジヨホア侯　同侯ハ本日午後濱延遊館を拜借し同七時四十分より皇族大臣參議英米獨三公使其他都合四十餘名の貴賓を招待して懇親の宴會を開くゝ付海軍省の樂隊を聘するよし（前號ゝ我大臣參議ハ催しとせしハ誤聞ニ又本日ハ井上外務卿が同侯を招待する筈ありしゝ折悪しく卿ゝは一両日前よりの微恙ゝて延會ゝしたり

○上海電報　李鴻章は本月五日上海を發し天津ゝ歸りたり

（官報）

○李鴻章　前項ゝある如く同氏ゝ上海を發して天津ゝ歸りたるとのこゝ簡單ゝある報知にて其理由を知らざるとも今日の海外電報ゝある如くトリクウ氏ハ李氏ゝ對し無禮の行爲を働き談判中止して拂取らせとの事あれバ若しや是等の爲めゝあらざるか猶後報を待つて詳記すべし

○アランケット氏　パアクス公使の後任を受て今度日本駐在英國公使ゝ任せられたるアランケット氏ハ本年四十九歳英國貴族フヰンガル侯の第四子ゝあり二十歳の頃ろより外交官とゝなり本年ゝ至るまで二十九年專ら外交事務に從事し日耳曼バヽユニック府、伊太利のヂープルス府、荷蘭のヘイグ府、西班牙のマドリッド府、丁抹のコペンハイゲン府、墨地利の維納府日耳曼の伯林府、伊太利のフロレンス府等の各所ゝ勝任し明治五年東京英國公使館書記官ゝ任せられ之を日本ゝ來るの始とせり明治八年本國外務省顧府に轉任を為ゝ